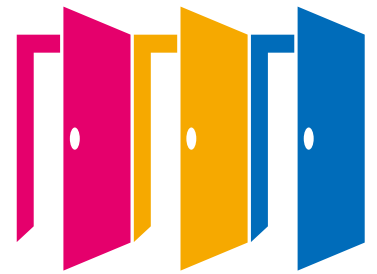


# KOCHI ROTARY CLUB

2020  
2021

SINCE 1937



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3446回

2020年11月24日 2020年12月1日発行

### ● 会長挨拶

皆さんこんにちは。昨日は勤労感謝の日でした。勤労を尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝をする日です。これはもともとは九州で行われる新嘗祭に端を発する祝日です。今年、日本の祝日は18日、先進国では最も多くなっています。アメリカは10日、フランス・ドイツは11日、イギリスは9日、当社と親しい間柄のオランダも9日で、時々日本人は休んでばかりだねと言われたりします。背景として、積極的に有給休暇を取りづらい日本の労働環境を少しでも公的な休みで増やそうという思い、あるいは休日にレジャーや買い物を楽しんで、なるべく消費をアップしようという狙いもあるかと思えます。



今、働き方改革とかライフ・ワーク・バランス、テレワーク、男性の育児休暇など、労働環境に関する話題が豊富です。労働環境を良くすることはいいことですが、一方で私は労働の質というか、付加価値をつけて生産性を向上することが大事ではないかと思っています。有意義に働き、豊かな生活をみんなが感じられるような、そんな工夫や努力、取り組みが私たちに求められているのではないかと思います。

本日の卓話は2019-2020年度長期交換派遣学生の上田和恵さんの帰国報告です。上田さんはコロナのために途中で帰国しましたが、向こうで大変活躍されているということは、私の耳にも入っていました。とても楽しみにしています。



### ■本日のプログラム [12月1日]

定時総会  
ゲストスピーチ  
ストロングポイント社 高知支社長  
近藤 誠人氏  
「コロナ禍におけるコンサルタント業務」

会 長	中 村 裕 司
副 会 長	入 交 章 二
幹 事	関 雅 文
副 幹 事	中 澤 清 一
会報責任者	隅 田 和 稔

● **ロータリーソング** 「奉仕の理想」

● **来訪ロータリアン及びお客さま**

高知分区長期交換カウンセラー 永野正将氏（高知東RC）  
 長期交換派遣学生 上田和恵さん



● **社会奉仕委員会より**

今期、財団の地区補助金を使って、ロータリー財団委員会と社会奉仕委員会で、奥田川流域の河川保全事業の支援を行うことになっていましたが、コロナの関係でメインイベントの開催は断念しました。ただ、先週の土曜日、お天気にも恵まれ、伊野南小中学校の生徒さんも多数参加して、周辺の草刈りや清掃活動を行いました。また当日、ロータリーからお祭り等で使うスピーカーを寄贈しました。中村会長、関幹事、財団委員会からは安藤委員長と小笠原晃男会員、社会奉仕委員会からは、私・森と筒井会員の6名で参加してまいりました。



● **ゲストスピーチ**

**帰国報告**

長期交換派遣学生 上田 和恵さん

去年の8月から2020年3月まで、ロータリーの交換留学生としてアメリカのカリフォルニアに留学させていただきました土佐女子高校1年の上田和恵です。よろしくお願いします。

私が留学していたフレズノ市は、カリフォルニアの中央部に位置しており、面積は高知市と同じくらいですが、人口は50万人。ロサンゼルスやサンフランシスコから車で約3時間、サクラメントからは約2時間。高知市の姉妹都市で1年に1度短期交換プログラムも行っています。フレズノは雨がほとんど降らず、カラッとした天気の日が多いのでとても過ごしやすく、空がきれいです。



ファーストホストファミリーは弁護士をしているお父さんのボブ・エーブラムさんと明るいポジティブなお母さんのシェリーさん、シェリーさんのお母さんで93歳でも元気いっぱい現役で車を運転しているジジさん、そして3匹の可愛いわんちゃんです。ボブさんは弁護士の仕事がとても忙しく、

家にほとんどいなかったため旅行や遠出はできませんでしたが、フレズノで開催されるイベントには必ず連れて行ってくれました。シェリーさんの趣味であるマラソン大会に出たり、日本のパズルをしたり、映画をみたり、特別なことをしなくても自然と日常生活の中で笑顔でいることができる、そんな家族でした。

彼らは熱心なキリスト教徒で日曜日は必ず教会へお祈りに行きました。私はクリスチャンではないので、教会で座らないといけないのが最初はすごく苦痛でしたが、英語が聞き取れるようになると聖書の内容なども少しずつ理解でき、興味深い考え方に触れることもできました。ファーストファミリーとは6か月間も一緒にいたので、離れるときは本当に辛かったです。

ロータリーの方々にも本当にお世話になり、孫のように可愛がってくださいました。毎週、例会には出席しましたし、わざわざ日本食を食べにつれていってくれたり、温かい関係をつくることができました。中でもカウンセラーのジョンさんとそのご家族とは本当に仲良きさせていただき、いろいろな所へ行きました。彼のガールフレンドの日本人のアキコさんと私は共通点が多く、とても話が合いました。英語でジョンさんに説明してもなかなか分かってもらえないことや、日本人女性ならではの悩みもアキコさんに相談できたので、本当



に心強かったです。

ロータリー地区で一緒だったインバウンドの人たちとは月に1度オリエンテーションをするのですが、この地区には日本人はもちろんアジア人が1人もおらず、全員がヨーロッパや中南米出身でした。みんな英語は流ちょうに話し、中南米の人たちはスペイン語という共通言語があります。私も最初は頑張って英語で話していましたが、どうしても日本人ならではのアクセントが抜けられないせいで全く理解してもらえず、一人ボッチの状況でした。文化と言語の大きな壁に悲観するばかりでした。もう無理だと思って母に電話で相談すると「自分が変わらないと相手も変わらないよ。状況を変えたいならまず自分を変えよう」と言われました。彼らもつと話しかけてくれたら、もう少し優しく接してくれたらと思っていた自分を反省し、それからは英語が通じなくても、とにかく笑顔で一生懸命積極的に話しかけました。すると彼らも「彼女の英語はめちゃくちゃだけど、和恵がこんなに明るい子だとは思わなかった」と、今まですれ違っていた心がどンドンほじめていきました。今では、アジア人のいない地区だったからこそ、自分自身精神的にも大きく成長できたと思ひ、彼らと出会えたことに感謝しています。

アメリカの学校で私がすごいなと思ったことを三つ、リンクを付けて紹介します。

まず3番目、先生は全ての生徒に平等です。留学生に対しても他の生徒と何一つ変わりなく接してくれます。私もいい成績を残したとき、一留学生としてではなく、生徒として実力が認められ、とても嬉しくて勉強も頑張ることができました。2番目は部活動の時間が短く4時から5時に終わります。アメリカの治安の悪さゆえ、夜の町を歩かせないための工夫だそうです。

そして1番は、多様なジェンダーセクシュアリティで、私が学校生活で一番カルチャーショックを受けたことです。例えば、男の子だと思っていた子が実は女の子で、男装が好きなトランスジェンダーだったり、男の子だと思って接していた子が、ある日つけまつげと口紅を付けて学校へ来たときは、本当にびっくりしました。男女平等すら危うい日本社会では多くのLGBTの人々がジェンダーについて理解してもらえず苦しんでいます。それに対し、自分のセクシュアリティを個性として発信でき、性別に関係なく実力次第でどんな未来も描けるアメリカの文化は素晴らしいと思いますし、日本がもっとセクシュアリティに対して寛容な国になるよう、私もいろいろなコミュニティに参加して考えを深め、発信していこうと思っています。

学校生活は本当に充実していて、多くの友達ができるのですが、そのきっかけをくれたのが、私が入っていたエイポップダンスクラブのメンバーで、いつも明るく接してくれた彼女たちには感謝しかありません。お泊まりをしたり、遊園地へ行ったり楽しい時間を過ごしました。中でも大親友のティファニーとは、彼女の民族であるモン民族のお祭りに、彼女がプレゼントしてくれた伝統衣裳で参加したり、民族の歴史を知るなど異文化体験もできました。

日本はいじめによる自殺者数がとても高いのですが、アメリカは人種差別こそあるものの学校内でのいじめは少ない

ように感じました。ただ、私も少し差別を受けたことはありますが、アメリカだからそういうことは当たり前だと思ったり、クラスも肌の色が違うメンバーが多かったですので、私自身は余気になりませんでした。個性を持っているのは当たり前で、そんな自分に一人一人が誇りを持っていました。アメリカの個性を認め合う文化に私はとても共感し、日本もその文化をもっと学んでいくべきではないかと思ひます。

そして、もう一つ、障害のある子どもたちと健常者の子どもたちが同じ学校に通っています。障害者をサポートするクラスもありました。あるとき、友達とお昼を食べていると障害を持つ男の子が鼻水やよだれを垂らしながら、ハグを求めてきました。私は初めての経験で思わず友達を見ると「元気だった、会いたかった」といって当たり前のようにハグをしていて、彼女の自然な振る舞いに私は大きな衝撃を受けました。障害者と健常者がともに生きて行ける社会をつくっていくためにも、学生のころから障害者と一緒に学べる環境は、差別や偏見をなくしていく日本社会、世界教育をよりよいものに変えていく大きな一歩だと思ひます。

セカンドホストファミリーは78歳のノニーさんと3匹のトイプードルでした。向かいの家に住んでいたノニーさんの娘の家族が毎日のように遊びに来て、週末にはスキーや動物園、ディズニーランドへ行くなども楽しく過ごしました。また、2月29日の4年に1度の私の誕生日を祝うために友達を呼んでパーティーを開いてくれて、人生で最高の誕生日となりました。

楽しい時間はすぐに終わります。コロナウイルス拡大のため、早期帰国命令が送られてきた瞬間、頭が真っ白になりました。悔しくて悲しくて、インバウンドの友達と大声で泣きました。しかし、帰国までの1週間は今までにない嬉しい忙しさに溢れていました。朝昼晩とたくさんの友達やロータリーの方々が、アルバムやお守りを持ってきてくれたり、お別れパーティーを開いてくれました。最終日には、友達がサプライズでピクニックパーティーを開いてくれて最高の思い出ができました。そして、そのときに彼女たちが言った言葉を、私は未だに忘れることはできません。「私の人生に来てくれてありがとう」私の8ヶ月の留学で一番嬉しい言葉であり、そして、私が留学をした理由を証明してくれる言葉でもありました。

私は世界平和のために世界中に友達をつくりたい、アメリカで一生涯の友達をつくりたいと、1年前にスピーチをしました。コロナウイルスのせいで最後までやり遂げることはできませんでしたが、このロータリー留学で掲げていた自分の目標を達成し、大きく成長し、無事日本に帰ってこれたことをとても嬉しく思ひます。言葉の壁、文化の違い、肌の色、セクシュアリティ全てを飛び越して、心で繋がることのできた彼らとの思い出は、一生涯の宝物です。今回のロータリー留学で学んだこと、そして、皆さまへの恩を忘れず、将来の夢である世界中の全ての子どもたちが人間的に成長できる教育を受けることのできる社会を目指して、これからもさまざまなことに挑戦し続けていきます。

この留学を支えてくださったロータリー関係者の全ての皆さまへ感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

◇ 例 会 変 更 ◇

高知北RC	12月 7日	職場例会(三)	高知中央RC	12月17日	夜間例会(城)
高知西RC	12月18日	忘年夜間例会(三)	高知北RC	12月21日	クリスマス夜間例会(三)
高知RC	12月22日	忘年夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	12月22日	夜間例会(旭)
高知東RC	12月23日	夜間例会(阪)	高知南RC	12月24日	夜間例会(阪)
高知中央RC	12月24日	ロータリー休日(城)	高知西RC	12月25日	ロータリー休日(三)
高知北RC	12月28日	年末休み(三)	高知RC	12月29日	年末休み(三)
高知ロイヤルRC	12月29日	年末休み(旭)	高知東RC	12月30日	年末休み(阪)
高知南RC	12月31日	年末休み(阪)	高知中央RC	12月31日	年末休み(城)

※例会会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

ニコニコ箱

安藤 一臣、小笠原晃男、森 由枝、森 恒一郎、筒井 善樹 } 11月21日に今期のロータリー財団委員会及び社会奉仕委員会のプロジェクトである奥田川親水公園の整備事業が行われました。当日は中村会長、関幹事にもご参加いただき誠にありがとうございました。また、地元ということもあり、安光会員も出席されており、先ほど報告時に抜けておまして、申し訳ございませんでした。黙々と作業をされる会長を尻目に若手メンバーは日頃の不摂生がたたり、休憩とパトロールばかりでしたが、おかげ様でスピーカーの贈呈式、草刈りとも終えることができました。ご参加誠にありがとうございました。

安光 保二 } 伊野南小中PTA、地域社会が共同で推進中の奥田川水域の希少植物の保護と環境保全教育運動に連休中の21日、23日ご参加いただきました。中村会長、関幹事、安藤・森両委員長、小笠原さん、筒井さん、慣れない草刈り作業ご苦労様でした。いの町各地児童参加のワークショップお楽しみいただけただろうか。おかげ様で念願の音響設備、入手できました。感謝感謝です。  
新年のご挨拶失礼いたします。長年にわたりロータリアンとしてビジネスパートナーとして、ご厚誼いただいた兄が去る7月、享年85歳で旅立ちました。皆さま方にはよいお年が訪れますよう、お祈り申し上げます、この1年のご厚情に深謝いたします。

12月のお祝い

(会員誕生日)	中澤 陽一	津野真千子	宮田 速雄	森 由枝	中山 智裕	
	町田 照代	久場 幸信	森 恒一郎	澁谷 伸一	吉門 文恵	各会員
(配偶者誕生日)	磯村 映	高橋伊都子	桑原佐代子	上野 幹彦	関 敦子	
	吉村久美子	安藤 由記	各会員配偶者			
(結婚記念日)	筒井 善樹	入交 英太	田岡 弘久	竹下 篤範	中澤 清一	各会員

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
11月24日	(-9)89	54	18	8	78%
11月10日	(-8)89	58	10	13	87%



● 累計額 [11月24日現在]

ニコニコ箱	368,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 基金	93,648円	ポリオ募金	127,400円
-------	----------	------------------------------	---------	-------	----------

■次週のプログラム [12月 8日]

ゲストスピーチ  
高知県知事 濱田 省司氏  
「～共感と前進～ 高知県の挑戦」

創 立 昭和12年10月  
例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階  
TEL(824)8660 FAX(824)2529  
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/